

有機材料システム研究科

教育プログラムの名称：有機材料システム専攻

授与する学位の名称：博士

【修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院有機材料システム研究科の修了認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)のもと、教育プログラム（有機材料システム専攻・博士後期課程）では、以下のような知識・態度・能力を獲得した学生に「博士」の学位を授与します。

1. 有機材料システム分野における豊かな学識を有しており、研究者として自立できる能力を身に付けている。
2. 世界に通用する高度に専門的な研究・教育に従事するために必要な研究能力を有している。
3. 国際的視野に立って自ら研究リーダーとして技術・学術の発展を牽引し、社会に貢献できる素養を有している。

【教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)】

山形大学大学院及び大学院有機材料システム研究科の教育課程の編成・実施方針(カリキュラム・ポリシー)に沿って、有機材料システム専攻（博士後期課程）の学生が体系的かつ主体的に学習できるように教育課程を編成し、これに従って教育を行います。

1. 有機材料及びその周辺との融合分野に対してさらに幅広い知識を教授する専門科目を配置する。
2. リーダーシップを持ってグローバルな視点から研究開発を推進し、成果の有用性を世界に向けて発信できるような資質を身につけるためのグローバル・実践科目を必修科目として配置する。

【入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）】

◆求める学生像

博士後期課程では、以下を持つ人材を口述試験及び面接により選抜します。

- ・有機材料分野に関する知識を生かし、論理的な思考のもと、自然科学の探求や研究開発に積極的に取り組む人
- ・有機材料システム分野に関する地域や技術を通して広く社会に貢献したい人

- ・ 社会の中での協調性を保ちながら、自ら考えて決断、実行できる人、他人への思いやりの心と高い倫理観を持つ人
- ・ 専門分野以外に対しても深い関心をもち、広い応用力を有する人
- ・ グローバルな視野に立ち、世界で活躍する技術者・研究者・教育者を目指す人

◆ 入学者選抜の基本方針

上記の【求める学生像】で示す能力等を有する人を多面的・総合的に評価するため、以下の方法により選抜します。

- (1) 一般入試（口述試験、書類審査の審査結果を総合して判定）
- (2) 社会人入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）
- (3) 外国人留学生入試（口述試験、書類審査の結果を総合して判定）